



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 仙波糖化工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2916 URL <https://www.sembatohka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 光夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 芝山 哲 TEL 0285-82-2171
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,689	△0.5	911	△2.2	909	0.9	583	△8.3
2019年3月期第3四半期	15,763	9.8	931	20.4	900	23.0	636	15.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 687百万円 (34.0%) 2019年3月期第3四半期 513百万円 (△27.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	51.26	—
2019年3月期第3四半期	55.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	22,129	9,646	42.8
2019年3月期	20,656	9,110	43.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,469百万円 2019年3月期 9,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	2.2	1,150	6.6	1,090	7.0	770	4.8	67.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,400,000株	2019年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	16,092株	2019年3月期	16,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,383,908株	2019年3月期3Q	11,383,929株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中摩擦や中東地域をめぐる情勢に加え、足元の新型コロナウイルスの感染拡大もあり、先行き不透明の状況が続いております。

食品業界におきましては、消費増税に伴う消費者の節約志向や選別消費傾向の高まりに加え、原材料価格や物流費の上昇もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは自社商材の拡販と提案営業の強化に加え、海外市場取り込みに向けた様々な取り組みを強化いたしました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は156億89百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

製品の種別別売上高では、カaramel製品は、天候不順の影響で飲料向けなどがやや減少し、29億18百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。乾燥製品類は、国内の粉末茶や粉末調味料などの自社商材の好調は継続していますが、中国子会社の粉末受託製品の減少と製品戦略見直しの影響もあり、46億70百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連製品の受注が好調に推移し、41億71百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。冷凍製品は、国内の冷凍和菓子が順調に拡大したことに加え、中国のデザート関連製品も増加し、29億15百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。その他は、子会社の受託加工などがやや増加し、10億12百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

利益面につきましては、ユーティリティークストや物流費の上昇に加え、研究開発費の負担増もあり、合理化効果で吸収できず、営業利益は9億11百万円（前年同四半期比2.2%減）、経常利益は9億9百万円（前年同四半期比0.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億83百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

○流動資産

当第3四半期連結累計期間末における流動資産の残高は、120億1百万円（前連結会計年度末は118億50百万円）となり1億51百万円増加しました。その主なものは、受取手形及び売掛金の増加（3億45百万円）等であり

○固定資産

当第3四半期連結累計期間末における固定資産の残高は、101億27百万円（前連結会計年度末は88億6百万円）となり13億21百万円増加しました。その主なものは、有形固定資産の増加（9億13百万円）、無形固定資産の増加（3億47百万円）等であり

○流動負債

当第3四半期連結累計期間末における流動負債の残高は、99億97百万円（前連結会計年度末は88億8百万円）となり11億88百万円増加しました。その主なものは、短期借入金の増加（7億85百万円）等であり

○固定負債

当第3四半期連結累計期間末における固定負債の残高は、24億85百万円（前連結会計年度末は27億37百万円）となり2億52百万円減少しました。その主なものは、長期借入金の減少（2億51百万円）等であり

○純資産

当第3四半期連結累計期間末における純資産の残高は、96億46百万円（前連結会計年度末は91億10百万円）となり5億36百万円増加しました。その主なものは、利益剰余金の増加（4億31百万円）等であり

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,153,039	3,053,473
受取手形及び売掛金	4,733,209	5,079,136
商品及び製品	1,950,630	1,857,365
仕掛品	824,980	706,760
原材料及び貯蔵品	924,369	879,589
その他	264,713	426,017
貸倒引当金	△582	△615
流動資産合計	11,850,361	12,001,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,496,434	3,338,079
機械装置及び運搬具(純額)	2,067,275	2,039,702
その他(純額)	936,098	2,035,472
有形固定資産合計	6,499,808	7,413,253
無形固定資産	253,844	601,649
投資その他の資産		
投資有価証券	1,547,748	1,701,861
繰延税金資産	385,358	253,289
その他	129,292	167,302
貸倒引当金	△9,691	△9,583
投資その他の資産合計	2,052,708	2,112,869
固定資産合計	8,806,361	10,127,773
資産合計	20,656,722	22,129,501

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,813,724	2,660,485
短期借入金	3,912,744	4,698,105
未払法人税等	185,190	27,137
賞与引当金	344,006	174,968
役員賞与引当金	17,200	—
その他	1,535,807	2,436,701
流動負債合計	8,808,673	9,997,399
固定負債		
長期借入金	1,173,388	921,923
退職給付に係る負債	1,254,347	1,284,335
繰延税金負債	106,255	84,566
資産除去債務	51,589	51,691
その他	151,987	142,799
固定負債合計	2,737,568	2,485,315
負債合計	11,546,242	12,482,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	5,649,867	6,081,769
自己株式	△5,108	△5,108
株主資本合計	8,348,368	8,780,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	718,023	825,521
為替換算調整勘定	△38,103	△118,691
退職給付に係る調整累計額	△19,120	△18,073
その他の包括利益累計額合計	660,800	688,756
非支配株主持分	101,311	177,760
純資産合計	9,110,480	9,646,787
負債純資産合計	20,656,722	22,129,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	15,763,128	15,689,213
売上原価	12,341,902	12,160,562
売上総利益	3,421,225	3,528,651
販売費及び一般管理費	2,489,434	2,617,640
営業利益	931,790	911,010
営業外収益		
受取利息	2,333	2,553
受取配当金	22,774	28,197
その他	33,777	30,760
営業外収益合計	58,886	61,512
営業外費用		
支払利息	48,730	27,333
為替差損	19,846	13,968
その他	21,209	21,798
営業外費用合計	89,786	63,100
経常利益	900,890	909,422
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4,620
特別損失合計	—	4,620
税金等調整前四半期純利益	900,890	904,802
法人税、住民税及び事業税	219,494	162,438
法人税等調整額	32,377	71,055
法人税等合計	251,872	233,494
四半期純利益	649,018	671,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,656	87,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	636,361	583,580

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	649,018	671,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109,011	107,498
為替換算調整勘定	△28,331	△91,867
退職給付に係る調整額	1,671	1,046
その他の包括利益合計	△135,672	16,677
四半期包括利益	513,345	687,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	511,300	638,398
非支配株主に係る四半期包括利益	2,045	49,587

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。当社グループは海外売上高の拡大・グローバル展開を推進しており、在外子会社における海外売上高の重要性が今後さらに増加することが見込まれるため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、在外子会社の収益及び費用を期中平均相場により円貨に換算する方法が合理的であると判断したためであります。

この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社連結子会社である福建龍和食品実業有限公司(当社出資比率51.16%)は、所有する固定資産を譲渡しております。

なお、福建龍和食品実業有限公司の決算日は、連結決算日と異なっており、当第3四半期連結累計期間においては、同社の2019年9月30日に終了した四半期累計期間の財務諸表を連結しているため、当該譲渡取引を重要な後発事象として記載しております。

(1) 固定資産譲渡の理由

保有する土地が福州市連江県による開発事業の対象となり、立退き要請を受けたため。

(2) 資産の内容及び所在地

所在地：中華人民共和国福建省福州市連江県

種類：土地使用権等

(3) 譲渡日

2019年11月27日

(4) 譲渡先

福州市連江県

(5) 損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡により、2020年3月期の期末連結決算において、約1,770百万円の固定資産売却益を特別利益に計上する見込みです。